

沖縄県立看護大学学長奨励研究

年度	職位	氏名	研究課題（採択時）
2023（令5）	准教授	栗島 一博	島しょ看護・包括的専門看護師のナラティブストーリーのPodcast化
	講師	浦添 美和	沖縄県における子育て世代外国人の育児状況とニーズ
	助手	大城 風佳	療養型医療施設でストレングスを活かす看護のための実習指導を担当する看護者の体験 －長期療養のケア環境に看護実習生が関与することと看護者のケア観の関係－
	講師	知念 久美子	小離島出身高校生のピアサポート支援体制の基盤づくり －モデル島の事例－
2022（令4）	助教	當間 みゆき	covid-19の影響による病院・遠隔（オンライン）・学内での異なる周産期保険看護実習Ⅱを経験した学生の学びと課題
	助手	松田 めぐみ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍で継続している自治会活動の実際と課題
	助手	池本 温美	新型コロナウイルス感染症による保健所支援を通しての看護学生の学び
	助教	砂川 ゆかり	要介護高齢者による社会貢献を支援する看護方法の提案 - 現場の看護職者と研究者の協働による試み -
2021（令3）	助教	仲本 勉	N大学学部学生の自己効力感に関する質的調査研究
	講師	上里 さとみ	事業所等で働く精神障害をもつピアサポーターの活動の継続に関する要因
	助手	池本 温美	沖縄県におけるダイビングインストラクターの健康意識と健康管理能力の実態
	助手	具志堅 翔子	クリティカル・緩和ケア実習後の看護過程のアセスメントに対する学生の感じる困難感と、協同作業認識との関連性に関する研究 ～経年的変化を捉える～
	講師	知念 久美子	島しょ地域における不妊治療の実態
	助手	山川 和歌子	新卒看護師の採用を始めたばかりの施設の先輩看護師の新卒看護師への指導の困難と対処
2020（令2）	助教	仲本 勉	大学生の自己効力感と休学との関連について
	准教授	宮里 智子	看護職の固有ルールの獲得における看護基礎教育の影響
	講師	大城 早苗	地域連携による思春期性教育への取り組みA島版性に関する教育「－小学校用・中学校用－指導演」作成
	助教	鈴木ミナ子	親の発達障害に関する知識の習得がペアレントトレーニングの効果に与える影響についての検討
	助手	山川和歌子	へき地で実習を行わない場合における早期体験実習での学生の学び
	助手	具志堅翔子	クリティカル・緩和ケア実習後の看護過程のアセスメントに対する学生の感じる困難感と、協同作業認識との関連性に関する研究

沖縄県立看護大学学長奨励研究

年度	職位	氏名	研究課題（採択時）
2019（令元）	講師	宮國 友美	島しょにおける子ども達の心と体の健全な発達を促すための保健教育への支援 ～学校と地域が連携したA島版「生に関する教育」への取り組み～
	准教授	村上 満子	患者とともに成長するケア－長期入院精神障害者の意向にそう看護実践－
	准教授	宮里 智子	看護職の固有ルールと再意識化における看護基礎教育の影響
	助教	下中 壽美	産科施設で働く助産師が抱える周産期メンタルヘルス支援上の課題解決へ向けた参加型アクションリサーチ
2018（平30）	教授	山本 敬子	孤立小型離島における住民のヘルスリテラシーと生活習慣に関する研究
	講師	知念 久美子	島しょにおける子ども達の心と体の健全な発達を促すための組織化への支援
	助教	下中 壽美	参加施設で実施する周産期メンタルヘルス支援の現状と課題
	助手	田口 尚子	子どもの看護に関わる看護師の世代間における倫理観の相違－教育背景との関連性－
2017（平29）	准教授	山口 賢一	批判的思考の養成に向けた提言 -学生の傾向と他大学の実践から学べること-
	助教	當間 紀子	子どもの在宅移行において求められている医療的ケア-小児病棟に勤務する看護師による実態調査と困難事例の振り返りから-
	助教	知念 真樹	休肝日からみた沖縄県民の健康的行動の特徴-平成18年と平成23年の県民健康・栄養調査データから-
	助手	比嘉 麻巳	周産期における助産師が行う育児支援の実態-愛着形成に関する保健指導に着目して-
	助手	源河 朝治	頭頸部がんサバイバーにおける放射線療法後の晩期有害事象と症状体験
2016（平28）	講師	知念 久美子	本学別科助産専攻の修了生の助産師としての役割発揮と助産師教育について
	助教	岡崎 実子	沖縄県の特定町村における各種保健福祉計画の策定と活用状況
2015（平27）	講師	田場 由紀	小離島の高齢者が捉えた生活と介護の課題およびその解決策
	講師	大城 すぎの	別科助産専攻修了生の就業状況の実態
	助教	大島 泰子	精神科を初めて経験する中堅看護師の困難
	助手	伊牟田 ゆかり	要介護高齢世帯の地域での生き様 -社会貢献を切り口にして-
	助手	金城 里奈	A看護大学における学生が最終学年後期まで学業継続できた理由と大学生活の特徴